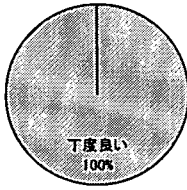
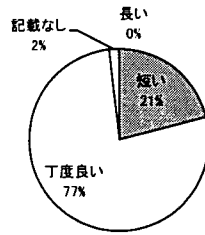


第4回つくば緩和ケアカンファレンス参加者アンケート集計結果

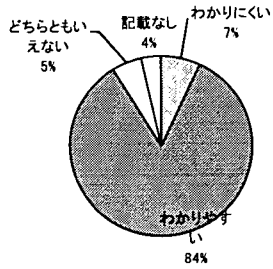
グループワークの人数



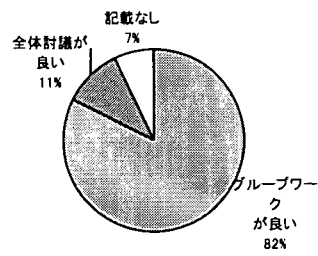
グループワークの時間



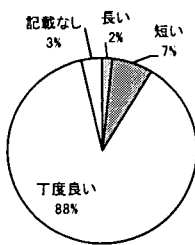
事例提示の方法



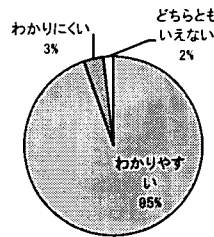
事例検討の方法



講義の時間



講義の内容



VI 今回のつくば緩和ケアカンファレンスに参加した感想はいかがですか

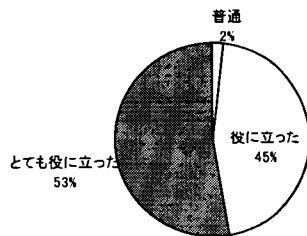


表 1. 国立がんセンター東病院緩和ケア病棟

| | 2006 年末まで | 2007 年 1 月以降 |
|--------|-------------------|--|
| 登録制度 | あり | 廃止 |
| 入院対象 | 自宅で過ごすことが困難となった場合 | 自宅で過ごすことを困難としている身体的または精神的症状がある場合 |
| 入院の順番 | 登録順 | 緩和医療科医師の診察の結果入院が必要と判断した順 |
| 退院 | 明記せず | 症状がコントロールされたと医師が判断した場合は退院となる旨を説明 |
| 転院について | 明記せず | 症状がコントロールされた状態においても入院継続を希望する場合、転院となる旨を説明 |

表 2. 緩和ケア病棟入退院

| | 入院患者数 | 退院患者数(A) | 死亡退院患者数(B) | B/A (%) |
|-------------|-------|----------|------------|---------|
| 柏市 2006 年 | 58 | 57 | 52 | 91.2 |
| 柏市 2007 年 | 75 | 78 | 70 | 89.7 |
| 流山市 2006 年 | 30 | 30 | 27 | 90.0 |
| 流山市 2007 年 | 22 | 22 | 21 | 95.5 |
| 我孫子市 2006 年 | 18 | 18 | 16 | 88.9 |
| 我孫子市 2007 年 | 20 | 18 | 14 | 77.8 |
| 全体 2006 年 | 265 | 257 | 233 | 90.7 |
| 全体 2007 年 | 359 | 372 | 315 | 84.7 |

表 3. 在宅療養支援診療所（社会保険事務局への届出より集計）

| | 診療所数1 | 診療所数2(A) | A 対人口 10 万 | 新規訪問患者数 | 自宅看取り数 |
|-------|-------|----------|------------|---------|--------|
| 柏市 | 9 | 11 | 2.87 | 300 | 14 |
| 流山市 | 2 | 4 | 2.59 | 424 | 69 |
| 我孫子市 | 2 | 2 | 1.50 | 40 | 1 |
| 千葉県全体 | 176 | 207 | 3.39 | 11922 | 993 |

診療所数 1 : 2006 年 8 月 13 日時点

診療所数 2 : 2007 年 6 月 30 日時点

新規訪問患者数、自宅看取り数はいずれも 2006 年 7 月 1 日から 2007 年 6 月 30 日の期間

表 4. 麻薬消費量（千葉県への届出より集計）

| | 2004 年度 | 2005 年度 |
|------|---------|---------|
| 柏市 | 11,907 | 13,789 |
| 流山市 | 1,760 | 909 |
| 我孫子市 | 504 | 632 |
| 柏管区 | 14,171 | 15,330 |

経口モルヒネ等価換算を行い、モルヒネ、オキシコドン、フェンタニルについて集計した。

単位は g

換算は 経口モルヒネ 30 mg = モルヒネ座薬 30 mg = モルヒネ注射 15 mg = 経口オキシコドン 20 mg = フェンタニル 300 μ g とした。